

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

100th
UMEMURA
ベストMAX

中京大学スポーツ

Vol.24
2022 5月号



フィギュアスケート世界選手権
宇野選手が初優勝、鍵山選手が銀メダル
中京大学梅村陸上競技場が「新装開場」
陸上コーチ陣もさらに充実

中京大勢が世界を魅了 フィギュアスケート世界選手権



世界選手権初優勝の宇野選手



世界選手権銀メダルの鍵山選手

日本中が沸いた北京冬季五輪からほぼ1か月、興奮がまだ冷めやらない3月下旬、フィギュアスケートの世界選手権大会がフランス・モンペリエで開かれた。ロシアのウクライナ侵攻を受け、国際スケート連盟（ISU）がロシア勢の出場を除外した中で行われたが、中京大勢は北京五輪を上回る内容の演技で世界を魅了した。

宇野選手6度目の 出場で初優勝 鍵山選手が銀メダル

男子シングルには北京五輪金メダルのネイサン・チエン選手（アメリカ）と同4位の羽生結弦選手は欠場したが、北京五輪銅メダルの宇野昌磨選手（トヨタ自動車）と、五輪当時と同様、まだ入学前で中京大勢の一員ではなかった同五輪銀メダリスト鍵山優真選手（スポーツ科学部1年）が再び相まみえた。

そしてここで魅せたのは宇野選手だった。ショートプログラム（SP）は、最初の4回転フリップを見事に決めると、

4回転、3回転の連続トリプル、演技後半のトリプルアクセルも鮮やかに跳んだ。その他のミスもなく、楽曲をきれいに表現して満場の拍手を浴びた。そして自己記録の109・63点でトップに立った。一方、鍵山選手も冒頭の4回転サルコイ、4回転、3回転の連続トリプルは大幅加点のスタートだった。その後のジャンプでミスはあったものの、105・69の好得点で2位につけた。

そしてフリー。ここでも完璧な演技を披露したのが宇野選手だった。4種類の4回転ジャンプを計5本跳ぶ構成を見事にこなして自身初の

200点越え、202・85点をマークした。合計312・48点は歴代3位の高得点だった。6度目の世界選手権出場が初の優勝。さん然と輝く金メダルを胸に「周りの人たちが喜んでくれたのが一番うれしかった」と充実の表情を見せた。鍵山選手はフリー191・91点の計297・60点で銀メダル。世

界選手権2年連続の2位。「2位が悔しいと思えたのが成長です。来年こそは、の気持ちで頑張ります」と前を向いた。

位につけ、フリーを終えて計199・55点で銀メダルの快挙となった。ただ、両選手は「うれしいけど納得できる演技ではありませんでした」と反省の弁を口にした。

三浦・木原選手組 銀メダル獲得 ペアの日本勢 過去最高成績

北京冬季五輪のフィギュアスケートペアで7位に入賞し、日本勢初の入賞を果たした三浦璃来選手（スポーツ科学部2年）・木原龍一選手（木下グループ）組は、銀メダルを獲得し、世界選手権のペア種目では日本勢過去最高成績で今季を終えた。

「この状況をしっかりと踏まえて来季につなげたい」と両選手。「名実ともに世界のりくりゅう」を目指す戦いはいもう始まっている。

五輪、世界選手権で躍進を遂げりくりゅうとして多くのスケートファンに知られるようになった両選手だったが、世界選手権のフリーを終えた後の表情は満面の笑顔ではなかった。SPで3

鍵山選手入学式に出席 多くの報道関係者が取材に



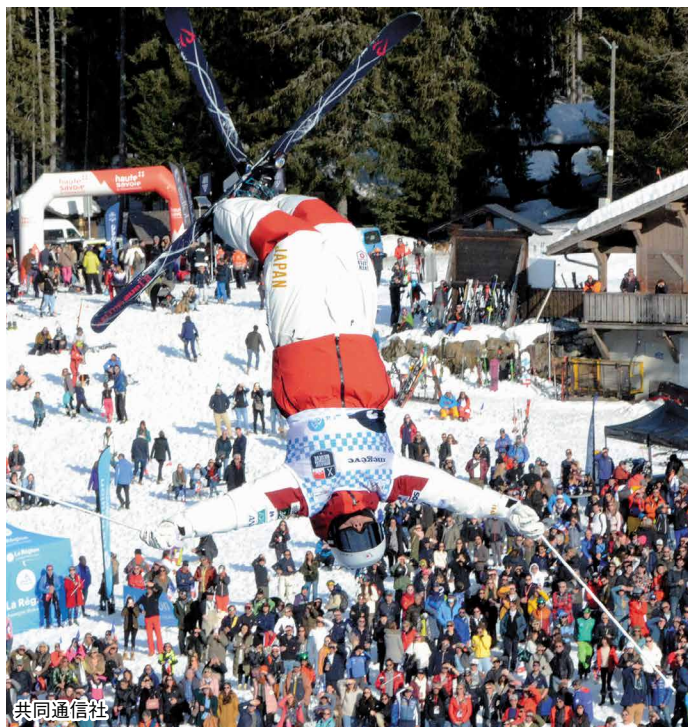
中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科に入学した鍵山選手は4月5日、日本特殊陶業市民会館フォレストホールで開かれた入学式に出席し、式典終了後、報道陣の取材に応じた。北京冬季五輪のフィギュアスケート男子シングルで銀メダルを獲得したばかりの鍵山選手の入學とあって注目度が高く、東海地方だけでなく東京などからも多くの報道関係者が取材に訪れた。

鍵山選手は「フィギュアスケートを究めるための環境が素晴らしい、中京大学しかないと感じました。中京大学の恵まれた環境で練習し、次の五輪では一番良い色のメダルを目指したいです」と笑顔で意気込みを語った。

北京五輪銅メダルの堀島選手 W杯は総合成績2位に

北京冬季五輪の男子フリースタイルスキー・モーグルで銅メダルを獲得した堀島真選手（トヨタ自動車、スポーツ科学部2020年度卒）は、大きな成果を残して2021-22シーズンを終えた。それは多くの人の記憶に残るシーズンでもあった。

4年前の平昌五輪で11位に終わった失意を踏み台



堀島選手

にして見事に飛躍を遂げたのだ。北京のメダルは、日本選手獲得「第1号」となり、後に続く選手たちに刺激を与えた。そのことはまさに、テレビ画面などを通じて声援を送った人たちの心に今も残るが、今回ここで強調したいのは、堀島選手のシーズンを通しての実績だ。

堀島選手は銅メダルの獲

得の後、「結果を出せて良かった。安心して次の4年に向けて頑張れる」と話していたが、すでにその成果は出始めている。それはワールドカップ（W杯）の結果が証明している。全12戦を戦い、すべて表彰台に上り、3勝を挙げた。総合成績は2位。1位の座は、W杯12戦のうち9勝のモーグルの絶対王者、ミカエル・キングズベリー選手が今季も占めた。

W杯最終戦で、僅差でキングズベリーに敗れた堀島選手は「最後まで表彰台を外さずに滑ることができ、良かった」とシーズンを振り返ったが、「最後はキングズベリー選手のすごさを感じたので、来シーズンに向けてトレーニングしていきたい。総合2位を1位にできるように頑張りたい」と、次に向けて早くもエンジンがかかっているようだ。

スノーボードアルペン金澤選手 全日本選手権で優勝



す。自分の持っている力を出すことができた大会でした。残りのレースも全力で頑張ります」と話した。



金澤選手

第28回全日本スキー選手権大会が2月25日、北海道釧路市の国設阿寒湖畔スキー場で開かれ、スノーボードアルペン競技女子パラレルジャイアントスラロームで金澤野愛選手（スポーツ科学部2年）が優勝。写真右に写った。

金澤選手は「全日本選手権大会優勝は、今シーズンの大きな目標だったので、達成することができて嬉しいで

現役生オリンピック イサ、吉永両選手が卒業

昨夏の東京2020五輪の男子競泳でオマーン代表として出場し、旗手も務めたアル・アダウィイサ選手（大学院スポーツ科学研究科1年）と今年2月の北京冬季五輪男子スピードスケート・ショートトラック日本代表としてチームを引っ張った吉永一貴選手（トヨタ自動車、スポーツ科学部2021年度卒）が3月19日、名古屋国際会議場で行われた卒業式に出席し、充実の4年間を振り返るとともに、新しい旅立ちの途に就いた。

イサと学業に励むとともに、競泳では引き続き、東京2020五輪でオマーン代表コーチを任された草薙健太コーチの指導のもと2年後のパリ五輪を目指す。

吉永選手は4月からトヨタ自動車社員となった。競技では4年後のイタリアで行われるミラノ・コルティナダンペッツォ五輪を目指す。大学生活では「スポーツも勉強もやり切った」と充実の表情を見せたが、北京五輪は「悔しい思いでしかない」と振り返った。両選手の今後の活躍を見守りたい。



吉永選手（左）とイサ選手

相澤さんは、2021年10月から「浮世 U K I Y O」というブランドを手がけており、手ぬぐいやバンダナを販売している。ブランドを始め



手ぬぐいを付ける平野選手

北京冬季五輪スノーボード男子ハーフパイプで金メダルを獲得した平野歩夢選手が競技中に使用していた「手ぬぐい」が話題になった。その手ぬぐいのデザイナーは2021年度スポーツ科学部卒業生の相澤さんである。

ノーボーダーであることが大きく関係している。「スノーボードは、時には身の危険も伴う激しいスポーツであり、セカンドキャリアを考えた時に自分のブランドを持ちたいと思ったことが手ぬぐいを販売し始めたきっかけです」と語った。平野選手と相澤さんは、種目は異なるがスノーボード競技をきっかけに知り合った。相澤さんが自作の手ぬぐいを練習中に頭に着用していたところ、平野選手から「それ、いいね」と声をかけられ、プレゼントしたものをオリンピックでも着用していたのだ。オリンピック後は商品が一部完売になったが、現在は予約販売をしている。（2022年4月7日時点）

在学中スキー競技部に所属していた相澤さんは、スノーボードスロープスタイルとビッグエアを専門種目として日本選手権、最高2位の成績を



相澤さん

収めている。現在は、プロのスノーボーダーとして6つの企業とスポンサー契約を交わし活動しており、プロスノーボーダーは「エックスゲームズ」と呼ばれる賞金を争う海外の大会への参加、スノーボードイベントの主催などが活動の主となる。「雪のない時期は室内ゲレンデに通ったり、雪を求めて海外に行ったりして1年中滑っています」と話した。今後もプロスノーボーダーとして活動をしながら、オフシーズンには自身のブランドで新商品の販売も検討していると言いつつ、「今後、手ぬぐいがスノーボード界の新しい文化になったら嬉しい」と笑顔で語った。

「新装開場」 中京大学梅村陸上競技場が

昨年、豊田キャンパスで続けられていた中京大学梅村陸上競技場の改修工事が無事終了し、4月2日、完成式典で「新スタート」を祝った。

同競技場は日本陸上競技連盟が定める公認施設として認定されており、16年ぶりの今回の改修では、ラインマークの入れ方が国際大会を開催する競技場と同様の規格となり、世界レベルで活躍する選手の育成に、より一層つなぐことを期待したい。

式典で梅村清英総長・理事長は「この先、パリ五輪をはじめ、世界で活躍する選手がこの陸上競技場から多く輩出されることを心から願っています」とあいさつ。さらに、陸上競技のオリンピックで教育や競技指導にも力を注いだ故梅村すみ子さんの名を上げて「喜んでいただくでしょう」と述べた。テープカットの後、青戸慎司さん（ソウル、バルセロナ五輪、長野冬季五輪出場、陸上競技部

副部長）、市川華菜さん（ロンドン五輪出場、2012年度体育学部卒）、川端魁人さん（東京2020五輪出場、2020年度スポーツ科学部卒）の3人のオリンピックとチューグルによる始走式が行われた。

改修では特に、走路の硬さや引掛かりなどが大幅に改善され、大会はもちろん、授業やクラブ活動の練習も、より安全で快適に取り組むことができそうだ。



（左から）チューグル、高橋体育会長、陸上競技部 眞鍋監督、梅村総長・理事長、陸上競技部 田内部長、スポーツ科学部 種田学部長



セレモニー後に行われた始走式

オリンピック市川さん、川端さんが コーチ就任

陸上競技部に新たに2人の短距離コーチが加わった。ともにオリンピックの市川華菜さんと川端魁人さんだ。4月からスポーツ振興部スポーツ専門職として、青戸慎司さんから様々な指導方法などを学びながら、本格的に選手たちの指導に当たっている。さらに地域の小学生など子供たちへの指導も行っていく。

市川さんは、中京大の現役生でロンドン五輪を経験し、卒業後はミズノに所属。国際大会や日本選手権など多くの経験を積んできた。2017年の日本選手権では女子100、200メートル両種目で優勝するなど約10年にわたって日本女子短距離界を牽引してきた。そんな貴重な体験も生かし「インカレや日本選手権で活躍できる選手たちを育てていきたい」と抱負を語る。

川端さんは、昨年400メートルで日本選手権初出場、初優勝の快挙を成し遂げ、東京



川端コーチ

指導にあたる市川コーチ（右）

2020五輪に4×400メートルリレーの中心選手として出場。惜しくも決勝進出は逃したが、3分0秒76の日本タイ記録をマークし、自らは第2走者としてラップタイムで44秒台を刻んだ。三重県での教員生活を惜しまれながらも閉じ、今後は陸上部コーチとともに、2年後のパリ五輪と2026年の愛知アジア大会を目標に選手生活も続ける。

福永選手 パラアスリートとしてスタートへ パリでのメダルを目指す

視覚障害の陸上競技パラアスリート福永凌太選手（スポーツ振興部職員、2020年度スポーツ科学部卒）が5月下旬に行われるパラアスレチック2022ワールドグランプリに参加するため、間もなくスイスへ出発する。国際パラ陸上連盟による障害のクラス分けを受けるのが重要な目的で、レースではトラック種目の400メートルに出場する。

福永選手は、「2年後のパリパラリンピックや地元愛知県で開催される2026年のアジア競技大会に目標の焦点を合わせて頑張りたい」としているが、「コロナ禍の影響もあって、パラ競技に参加するためのクラス分けをまだ受けていない。このため今回のグランプリ参加の最も重要な目的は、パリ日本選手権や国際競技会への出場機会を得るための国際パラ陸上連盟のクラス分けの取得で、現地では日本の医師の英文

診察書の提出、視力検査、国際パラ陸上連盟によるプレールの監察が行われる。

福永選手は滋賀県出身。目は錐体ジストロフィーという病名で、時間の経過とともに少しずつ視力が落ちていく。現在の視力は0.06だ。小学5年生のころに「野球やサッカーに取り組んだが、ボールが見えにくくなり、友人に陸上ならできるだろうと誘われた」と言う。中学校では陸上競技部に、「先輩を見ていて面白そうと棒高跳びに取り組んだ」。推薦で入学した高校では棒高跳び4メートル80センチを跳んだ。そして中京大へ。大学では主に十種競技に取り組んだ。



福永選手（右）と青戸さん

澤井選手

「侍ジャパン」代表入り目指す

硬式野球部

愛知大学野球春季リーグ戦の終盤を迎える硬式野球部にもう一つ楽しみな話題がある。中京大の強打者に「侍ジャパン」の一員として国際大会出場チャンスが巡ってきているのだ。大会名は第30回ハーレムベースボールウィーク。18年の第29回大会ではナショナルチームで結成された侍ジャパンが優勝しており、今回は大学代表選手で構成する「侍ジャパン」で2連覇を目指す。



澤井選手

中京大の強打者と言え、誰であろう、澤井廉選手（スポーツ科学部4年）だ。昨秋のリーグ戦で42回目の優勝を果たした中京大の4番打者として優勝に貢献し、リーグの最優秀選手賞(MVP)にも選ばれた。昨年11月には「侍ジャパン」の大学代表候補選手に選出され、12月に愛媛県で行われた強化合宿にも参加した。

澤井選手は「(合宿では)全国レベルの選手と一緒に試合や練習をして勉強になりました。これまでの野球人生の中でも大きな体験でした」と話し、代表に選ばれたら、の問いには「四番を、主軸を任されるように頑張りたい」と力を込めた。半田卓也監督は「自分の持つ力を出して、自分のバッティングをしてほしい。結果はついてくる」と期待を語った。

ワールドユニバーシティゲームズに

水泳部から3選手

藤谷コーチは代表コーチで参加へ

水泳部

中国・成都で6月26日から7月7日まで行われる国際大学スポーツ連盟(FISU)主催の「ワールドユニバーシティゲームズ」の競泳(6月27日〜7月3日)に水泳部の今井美析(スポーツ科学部4年)、古八優希(同4年)、神

野ゆめ(同2年)の3選手が日本代表として出場する。この大会は、昨年に開催予定だったが、コロナ禍で延期となっていた。

今回の競泳日本代表チームは男子17人、女子15人の計32選手で構成され、今井選手は女子の主将も務める。また、スポーツ振興部スポーツ専門職の藤谷光順コーチが、日本代表コーチとして参加する。

中京大3選手は、いずれも自由形で、今井選手が200m、長距離が得意の古八選手は400、800、1500mの3種目、短距離のホープ神野選手は50、100mの2種



(左から) 藤谷コーチ、今井選手、古八選手、神野選手

目に出場を予定している。また、リレー種目への出場も期待される。

今井選手は「日本代表として国際大会に出るのは初めて。めったに経験できないことなので、いろんな意味で頑張ってきます。まず決勝に進出し、1分58秒の自己ベストを狙いたい」と話し、大学生になって力をつけてきた古八選手は「初代表で緊張しています。日本チームの一員としての自覚を持ち、ベストで泳げるように頑張ります」と、まず決勝進出を目標に掲げた。また、神野選手は「久しぶりの海外遠征で不安はありますが、世界の強い人たちと戦える機会なので自分の力を出し切れるよう、頑張ります」と話し、目標を表彰台に置いている。

※この大会は5月6日に再度の延期が発表された。

2021 Campus 2 Can Pass スポーツでつなぐ中京大学 名古屋キャンパスからスポーツを応援

中京大学のスポーツ応援文化の醸成、名古屋・豊田両キャンパスの学生交流を目的とした、Campus 2 Can Pass スポーツでつなぐ中京大学が、12月13〜17日(15日除く)の昼休みに、名古屋キャンパスのガレリアで開かれた。各部活の学生が連日イベントを行い、4日間で延べ822人が参加した。初日はサッカー部による、



数字が書いてある穴(ゴール)にボールを蹴つて入れる「キックターゲット」、2日目は、アメリカンフットボール部による、アメフトボールを的に見立てボールを当てる「スローイングのあて」が行われ、両日とも会場は大勢の学生や教職員が参加し、楽しんでいる様子が見られた。

3日目は「ベンチプレス」が行われ、力自慢の学生たちが参加した。さらに、この日は梅村清英学長をはじめ、競泳のアル・アダウィイサ選手(スポーツ科学部1年)、同じく競泳の小西杏奈選手(ガスワン、2018年度スポーツ科学部卒)らオリンピックも参加した。写真

4日目は硬式野球部による「ストラックアウト」が行われ、多くの学生、教職員が参加。学生の中には1回のみならず何度も挑戦する姿も見られ、大きな盛り上がりを見せた。

2021年度体育会功労賞授賞式



2021年度体育会功労賞の授賞式が3月10日、豊田キャンパス611教室で行われた。昨年度に引き続き、コロナ禍の影響で規模を縮小して開かれた式には、受賞した学生やクラブの指導者ら約30人が出席。写真し、高橋繁浩体育会長(スポーツ科学部教授)から表彰状が授与された。

個人の部では、受賞者を代表して東京2020オリ

産官学連携事業「豊田スポーツアカデミー」バスケットボールクラスが開校



トヨタ自動車、豊田市、中京大学による産官学連携事業、豊田スポーツアカデミーの「バスケットボールクラス」が1月18日、スカイホール豊田サブホールで開校した。写真。豊田スポーツアカデミーは、人間的成長と競技の技術的向上を目指し、トップ選手らが指導するプログラムとなっている。

参加者はバスケットボール

ピックに競泳オマーン代表として出場した水泳部のアル・アダウィイサさん(スポーツ科学研究科1年)が賞状を受けた。また、競技だけでなく、学業でも優秀な成績を収めた選手には体育会功労賞特別賞、体育会長賞が贈られ、功労賞特別賞は男子ソフトボール部トレーナーの羽村莉奈さん(スポーツ科学部4年)が賞状を受けた。また、会長賞は3人の学生が賞状を受けた。

経験のある豊田市内の中学1年生20人で、女子バスケットボール元日本代表の栗原三佳さんをはじめ、トヨタ自動車アンテロープスOGが指導した。本学からはアスレチックトレーナーの村田祐樹さん、大見卓司さんがコンディショニングコーチとして毎週参加し、スポーツ科学部トレーナー学科の学生5人も参加した。

一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVASユニバス）主催のUNIVAS AWARDS 2021-22の表彰式Ⅱ写真Ⅱが3月28日、オンラインで行われ、中京大学は2部門で「最優秀賞」、2部門で「優秀賞」を受賞した。

UNIVAS AWARDSでは競技成績だけでなく、学業充実や安全安心、大学スポーツの振興などで著しい成果をあげ、同協会の理念の体現に貢献をした学生アスリートやスポーツに関わる学生、団体が表彰された。



最優秀賞 MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」

●取組名：体育会活動における重大事故の予防および再発防止に向けた取り組み

中京大学は、2021年9月にUNIVASが安全で安心な大学スポーツ活動の環境を整備するために新設した日本初の安全安心認証「UNIVAS SSC」を取得。事故予防と対応体制の構築、事故情報の集約、傷害保険加入への



各クラブに配付しているファーストエイドキット

●受賞者：男子サッカー部 秦野真歩さん（スポーツ科学部4年）

主務として総勢200人を超える男子サッカー部をまとめ、リーダーシップを発揮。選手会活動ではSNSを活用した企画の立案・実施や、グッズ作成、地域貢献活動の企画・実施等、幅広く活躍し、学生スタッフの自発性の成長に大きく貢献した。



早稲田大学ア式蹴球部でインターンに参加する秦野さん

優秀賞 コーチ・オブ・ザ・イヤー

●受賞者：男子サッカー部コーチ（統括・運営）吉田匡孝さん（サッカー部コーチ兼スポーツ振興部スポーツアドミニストレーター）

競技だけでなく社会で活躍できる人材育成のため、サッカーを通じて人間力育成・地域とのつながり創出に取り組み、学生スタッフ育成を図る「交歓インターン」の立案や、愛知県成年国体で全国大会出場へ導く等大きく貢献した。



試合中に指示をする吉田コーチ

陸上競技の藏重選手 全国制覇に挑む

昨年10月に行われた日本陸上競技選手権大会U18で女子100mの初タイトルを飾った藏重みう選手（3年）が今夏、高校生活最後となる全国高校総体（インターハイ）に挑む。

高校1年時、コロナ禍によりインターハイに代わり開催された全国高校大会では、



先頭を走る藏重選手

陸上競技部

得意の100mで実力を出し切れずB決勝の1位となった。2年時のインターハイは、200mで3位に入ったものの、100mではわずかに1000分の1秒差で決勝進出を逃した。惜しい敗退を経験した2か月後に行われたU18大会では向かい風13mのなか、自己ベストに迫る11秒75を出し優勝した。「インターハイで出し切れなかったからこそ、シーズン後半の伸びがあつたのだと思う」と振り返った。

8月に徳島で行われるインターハイに向けて、この冬は筋力強化のため室内でのトレーニングを中心にしっかりと基礎を高めた。インターハイでは自己記録を更新しての個人2冠、さらには4x100mリレーの3連覇を目標に掲げる。高校生活の集大成となる今シーズンに期待が高まる。

試合結果報告

スケート部

●フィギュア

日程	大会名	結果
2022年1月17日～21日	インターハイ・フィギュアスケート競技（盛運輸アリーナ）	〈男子〉 中村俊介 2位 〈女子〉 横井きな結 4位
1月24日～27日	とちぎ国体フィギュア競技（栃木県立日光霧降アイスアリーナ）	〈少年男子〉 中村俊介 優勝 〈少年女子〉 横井きな結 6位
1月18日～23日	ババリアンオープン2022（ドイツ・オーベルストルフ）	〈ジュニア女子〉 吉田陽菜 優勝
1月20日～23日	四大陸選手権2022（エストニア・タリン）	〈女子シングル〉 松生理乃 5位
4月7日～10日	エーニャスプリングトロフィー2022（イタリア・エーニャ）	〈女子シングル〉 吉田陽菜 優勝



松生選手

ショートプログラム（SP）で8位と出遅れたものの、フリー（FS）で自己ベストの142.05点を獲得し総合5位で初めての四大陸選手権を終えた。

●ショートトラック

日程	大会名	結果
2022年1月8日～9日	全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権（ひろしんビッグウエーブ）	夏目笑 500m 4位 1000m 5位 1500m 3位 林大剛 1500m 4位
1月17日～20日	インターハイ・スピードスケート競技（YSアリーナ八戸）	夏目笑 1500m 8位
1月24日～25日	とちぎ国体ショートトラック競技（今市青少年スポーツセンター） 屋内スケートリンク	林大剛 500m 4位 1500m 8位 八神利来 500m 6位 1500m 7位
1月24日～28日	とちぎ国体スピードスケート競技（霧降スケートセンター）	夏目笑 1500m 4位



吉田選手

SPでトリプルアクセルに成功！SP、FSともに首位に立ち、優勝を果たした。

普段はショートトラック競技を専門としているが、スピードスケートに挑戦。



[COLLEGE] MARKET

